



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

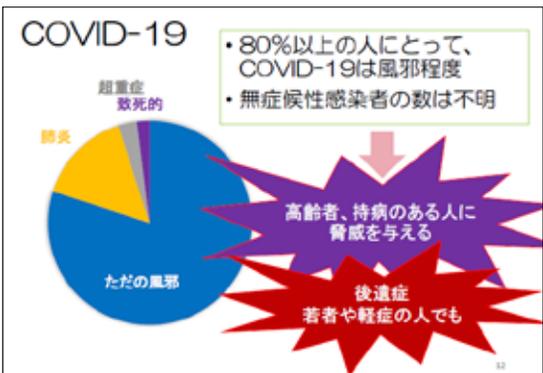
コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

あまりに連日感染情報が入るのでとても恐ろしいものと思われているけれど、実は約9割がただの風邪で済んでいる実態もある。ただし、持病を持たれた高齢者が重症化しやすく、男性の方がそのリスクが高い。若い方でも、「味がしない」「頭に霧がかかったようだ」などと後遺症に苦しんでいる方がおり、決して侮れない。特に発症前が感染リスク大でコロナウイルスに感染しても無症状の方が半数で、発症前に感染力が強くと

過度に恐れ過ぎず、決して侮ってはいけない

研修開催日は2021年3月17日で、講師として感染管理認定看護師の井上富弥江先生（津山第一病院）をお招きしました。実際にコロナ感染患者へ第一線で対応され、岡山県内外で何度も講義をされている心強い方でした。こちらは26名の職責者や感染対策委員が参加し、最新の知識から注意すべきポイントまで必死で講義や実技を聞き、院内ラウンドでは現実的な対策も知ることができました。

厚生労働省主催の「感染症対策のための実地での研修」 正しい知識と感染対策で 「コロナ禍を乗り越える」



知らず知らずのうちに他の人に広げてしまい、クラスターに至っている点が非常に厄介な点です。



日頃の疑問を講師へ質問

死守すべき原則

目・鼻・口を守り、手洗いを。汚れた手で顔を触らない。何かする時には手洗いや手指消毒と普段から対策する事で意外と感染は防ぐ事ができます。例えば、感染していても、感染対策をしつかりすることで拡大は防ぐことが出来ます。



手洗いや手指消毒は基本中の基本



汚れた手で顔を触ると感染リスク大

コロナ感染者への過剰な対策を見直す

感染したというだけで腫れものように扱われていますが、マスク・ゴーグル・エプロン・手袋など防護具を使い、感染対策をすれば外の空気を吸い、時間を分けてお風呂に入ることではできるとのことでした。過剰な隔離は必要なく、むしろ、限られた環境で過ごす事でその人らしさが損なう方が余程危険とのことでした。



実践的なゾーニングの提案

ワクチン接種後でも宴会は時期尚早

たとえワクチン接種しても、マスクなしの食事や会話は感染リスクが高く、なんでも自由になる訳ではない。まだまだ我慢を強いられる面も多いですが、一緒に乗り切りましょうとお互いに励まし合いました。

おわりに

このように第一線で活躍する方の話は大変貴重であり、具体的な指摘や提案もされ、感染対策に関する正しい知識や対策を知ることが出来ました。まだ、気は緩める事は出来ませんが、出来る事からコツコツと行い、感染が収束するその日まで対策を実践していきます。コープリハビリテーション病院 感染対策委員会 佐藤 雅昭

言語聴覚士による訪問リハビリ

「食べること」や「話すこと」を支援します

日常生活の中で、「食事中にムセる」、脳卒中後で「声が聞こえにくい」、集中力が乏しい」など、気になる点はありますか。専門的な評価や介入により問題を明らかにし、共に解決策を考えます。自分一人で抱え込まず、暮らし向きをよくするために、ぜひご相談下さい。

老健あかね

訪問リハビリテーション

責任者 青木 麻紀
言語聴覚士 中村 賢吾

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

移転4年目を迎えて

相談を最初に受ける 建物の顔



灯台のように進路を提案

相談室は、移転後2名のソーシャルワーカーを迎え、事務員合わせて7名体制となりました。移転前後から連日入院・入所相談がありました。相談を最初に受ける病院の窓口として、地域からの期待の高さを、毎日ひしひしと感じていたのを、昨日の事のように思い出します。まだまだ「建物がかきれいだから」「新しいから」という声は多いですが、住み慣れた地域で自分のできる能力を維持しながら生活していきたいと思う方は多く、コープリハビリテーション病院・老健あかねに対する期待の大きさを感ずります。私たち職員は、出発時の思いを忘れず、地域の期待に応えることが出来るよう、頑張っていきたいと思えます。

支援相談室 大野 珠美

暮らしに戻すやりがい



この環境が私のプライドを満たす

回復期リハビリ病棟で働いて三年が経ちます。この間、様々なことを学ばせていただきました。特に感じたことは多職種と連携の大切さです。他病院でも必要だと思いますが、回復期ではより必要であると感じました。患者様一人一人の身体機能面の評価、また生活背景を知りどうすれば在宅復帰できるかをそれぞれの視点から問題を挙げ、それをカンファレンスで共有し一つの目標を立てます。リハビリもその目標を達成するにはどのようなプログラムを行えば良いかを考えながら行なっています。目標を達成し在宅に帰られるときの患者様や家族の方の笑顔を見れるのが、私の仕事のやりがいとなっています。

コープリハビリテーション病院 理学療法士 畠山 夏実

お食事の満足度向上を目指して



2階厨房で300人近い利用者の満足を売る筆者

患者さん・利用者さんの食生活満足度向上を目指し、いろいろな取り組みを行っています。その一つが選択メニューです。おかずを好みに合わせて2種類から選んでいただけます。(普通食の方で、特別な配慮が必要でない方を対象とさせていただきます。)

また、患者さん・利用者さんのご要望に応えられるよう、メニューの見直しを随時行い、若い年齢層の方や嚙んだり、飲み込んだりすることが難しくなっている方にも喜んでいただける食事提供に取り組んでいます。

コロナ禍で外出や病棟でのレクリエーションが中止となっています。食事でも暦上の行事や季節を感じていただけたようなメニュー提供を行っていきたいと思います。そして、これからも多職種と連携し、患者さん・利用者さんの食欲増進・体力回復につながるよう努めていきます。

コープリハビリテーション病院 調理師 武田 蘭

人と人との潤滑剤



単なる事務を越えたい

事務課では10代〜70代までの幅広い年代の職員が働いており、さまざまな業務を分担して行っています。多くのお客様と接することも多く、職員同士のコミュニケーションや情報共有を大切にし、スムーズに業務が行えるように心がけています。

日々の業務や役割の変化に柔軟に対応できるようにこれからも力を合わせて頑張っていきたいと思えます。

事務課 高田 富実子



西側花壇



東側花壇

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。

お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 平日 9:00~16:30
土曜日 9:00~12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町 1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

診療表					老健あかね [086-446-6541]	
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30~12:00 [086-444-3212]					訪問リハビリ	通所リハビリ
診療時間	外来	装具外来	歯科	短時間通所リハビリ	短期集中健診アップ教室	
月	午前 9:00~12:30	14:30~15:00	午後	9:00~16:50	9:30~11:00	9:00~16:00
火	渡辺	○ (予約制)	山崎 (予約制)	○	○	○
水	川村			○	○	○
木	太田		山崎 (予約制)	○	○	○
金	飯塚			○	○	○
土					○	○

医療福祉相談・連携室		
相談受付時間	平日	9:00~12:00 13:30~16:30
	土曜日	9:00~12:00
	日・祝日	休み

新入職員紹介

コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護師 豊福恵美菜	コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護師 安部 真帆	コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護師 中野 菜紀
老健あかね 介護福祉士 平野 夏実	コープリハビリテーション病院 5階病棟 介護福祉士 長岡 嵩大	コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護師 濱田 夢人

無料低額診療事業・無料低額介護老人保健施設利用事業を行っています。